

平成28年 臨時（第1回）大分市教育委員会会議録

1. 日 時 平成28年3月14日月曜日
午前8時30分～午前8時50分
2. 場 所 大分市役所第2庁舎6階 教育委員室
3. 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 角山 光邦
二番委員 小林 達也
三番委員 大久保 眞理子
四番委員 上杉 美穂子
4. 出席事務局職員
教育部長 澁谷 有郎 教育部教育監 江藤 郁
教育部次長 後藤 芳史 次長兼スポーツ・健康教育課長 有馬 徹
教育総務課長 佐藤 雅昭 学校教育課長 御手洗 功
教育総務課参事 糸長 隆
5. 書記
教育総務課参事補 三原 徹 教育総務課主査 谷矢 啓良
教育総務課主任 松下 明史
6. 傍聴人 なし
7. 議題
(1) 議案審議
(教議第19号) 大分市立学校施設管理規則等の一部改正について
(教議第20号) 県費負担教職員の人事異動の内申について
8. 会議の概要
教育長 それでは、ただいまより、平成28年臨時（第1回）大分市教育委員会を開会いたします。（午前8時30分 開会）
教育長 会議に先立ち署名委員を1番委員、2番委員お願いします。
それでは、ただ今より議案審議に入ります。教議第19号「大分市立学校施設管理規則等の一部改正について」を議題といたします。
事務局、説明をお願いします。
次長兼スポーツ・健康教育課長 それでは、教議第19号「大分市立学校施設管理規則等の一部改正について」ご説明申し上げます。
現行、大分市公共施設案内・予約システムにおける使用料の口座振替作

業では、フロッピーディスクの媒体を用いて金融機関と口座振替情報の受け渡しを行っております。その中で、平成28年度より公共収納サービスを利用した口座振替伝送化を行うことになりました。その内容としては、本市で口座振替を行っている9課のデータをまとめて会計課にて集約し、公共収納サービスを通じて金融機関と受け渡しを行い、その後、完成データを各課に配布しようとするものでございます。それに伴い、口座振替日を統一する必要性が生じ、大分市公共施設案内・予約システムの口座振替日を現行の15日から月の末日へ変更することになり、大分市公共施設案内・予約システムの使用料の納付日に関する規則を改正しようとするものでございます。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

ご質問などございませんか。

(なしとの声)

それでは採決をいたします。教議第19号について、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

それでは次に、教議第20号「県費負担教職員の人事異動の内申について」を議題といたしますが、本案は、人事に関する案件であることから、審議を秘密会とすることを発議いたしますが、秘密会とすることに賛成の方は挙手をお願いします。

全委員
教育長
教育長

(挙手)

全委員賛成と認め、教議第20号の審議は秘密会とします。

それでは、事務局からの説明の前に、平成28年3月末県費負担教職員人事異動作業の概要について述べさせていただきます。

昨年末の本委員会でご決定いただいた「大分市定期人事異動方針」のとおり、本市教育振興の立場に立ち、広域人事の推進と適材を適所に配置することを基本に、積極的な他市町村との人事交流及び校長の意見具申を尊重した市内異動を行ったところでございます。

今回の定期異動の特色について、管理職人事を中心に述べさせていただきます。管理職の人事異動につきましては、小中併せて16名の実退職者がございましたものの、市民から信頼される学校づくりを推進する意欲と的

確な判断力、そして力強いリーダーシップを持つ校長、教頭の配置に努めました。

まず、校長につきましては、小学校6名、中学校4名を新たに登用いたしました。計10名のうち、4名が行政から、5名が市内教頭から、また1名が市内主幹教諭からの採用でございます。また、市外からの転入につきましては3名であり、いずれも大分市在住であり、市外において校長として勤務実績がある者でございます。一層の意識改革を図る考えでございます。

次に、教頭につきましては、小学校26名、中学校10名を昇任いたしました。計36名のうち、3名が行政から、13名が市内の主幹教諭、教諭から、20名が市外の主幹教諭、指導教諭、教諭からの昇任でございます。また、その他、市外で教頭として活躍しておりました者を1名転入させております。

これらの異動により、管理職全体では、市外等との交流が転出29名、転入28名、合計33名となるとともに、49歳の教頭3名を配置するなど、若手登用の抜擢人事が着実に推進されたと考えております。

適材適所の管理職配置については、これまでも最優先事項としてまいりましたが、本市教育の実情に精通した人材と、市外での豊富な経験を有する清新な人材とを融合させることにより、継続した経営による特色ある学校づくりと学校経営の更なる活性化を両立できるよう努めてまいったところでございます。

私からは以上ですが、引き続き事務局から追加説明をいたします。

学校教育課長

引き続きご説明いたします。

本件は、平成28年3月末の教職員の人事異動にかかる作業が終了いたしましたので、本委員会で、ご決定をいただこうとするものでございます。

市内小中学校に在籍する県費負担教職員の異動につきましては、12月の本委員会でご決定いただいた異動方針に基づき、作業を進めてまいりました。お手元に異動内申の原案を配布しておりますのでご覧願います。

今回の異動の概略をご説明いたします。異動総数は、小学校369名、中学校227名の計596名となっております。異動の内訳をみますと、実退職者数は、小学校68名、中学校28名、合計96名でございます。

市外への転出者は管理職32名を含め163名、市外からの転入者は昇任等を伴わない管理職1名を含め253名でございます。これは、新採用からおおむね10年以内に3つ以上の人事地域を勤務すること、地域間で

の交流を積極的に推進することとの今年度の県教委の方針によるものでございます。また、その他の行政、県立、国立等との転出11名、転入25名の人事交流が実現することとなります。

なお、今回の異動のうち、特に管理職の任用について少しご説明いたしますと、新任の校長につきましては計13名のうち、行政から4名、市内教頭からの採用5名、市内主幹教諭からの採用1名、市外からの転任3名でございます。新任の教頭については、計37名のうち、行政3名、市内外の教諭等からの昇任33名、市外からの転任1名でございます。このように広域による人事交流が大分市教育の一層の活性化が期待できると考えているところでございます。

また、来年度は、県教委が主幹教諭を12学級以上の小中学校に配置することの方針に基づき、本市では11名増員し、小学校8校、中学校17校に合計25名を配置いたしました。主幹教諭は、校長または教頭の職務を助け、各分掌への指導助言、分掌間の連絡調整を行うことを職務としており、配置に当たっては、小中学校間の連携をより強化し、小中一貫教育を一層推進するために、小学校教諭3名を中学校に配置しております。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただき、ご決定のうへは、県教育委員会に内申を行おうとするものでございます。

以上でございます。

教育長 ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは採決いたします。教議第20号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育長 それでは他に何かありませんか。

教育総務課長 今月の教育委員会の日程につきまして再度ご連絡いたします。

3月の定例教育委員会は、3月30日(水)午後3時から開催いたしますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

全委員 (了承)

教育長 他に何かありませんか。

全委員
教育長

(なしとの声)
これもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午前 8時 50分 閉会)